

大淀川交流センター



平成18年12月竣工



樹齢推定 100 年の杉の梁材、天井は高温加圧処理した板材^(注1)を使用し柔らかな視覚効果を強調しました

木材使用の 91% は鶴岡地産材です!



廊下の腰壁にも高温加圧処理した板材^(注1)を使用しました



圧密化された杉のフローリング^(注2)
木目の美しさを際立たせしかも強度があります

**開放感を創出する
古民家風の小屋組**



廊下と玄関の
小屋組



鶴岡市の林地



第1.2会議室



玄関ホール



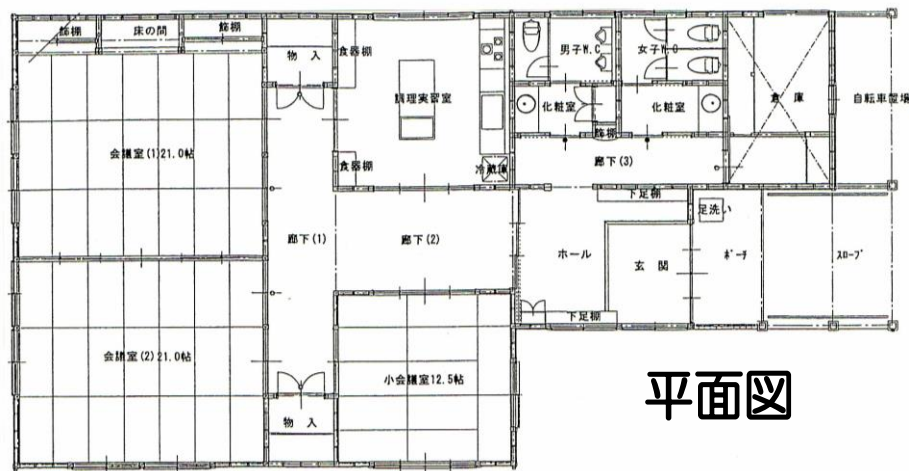
小会議室



調理室



建物を風雪から守る
幅の広い軒の張り出し



注1：特殊熱処理し、低吸湿性の伸縮率が極めて少ない高耐久性の板材
 注2：熱により軟化させた板目材を熱盤プレスにより圧縮固定化し、味わい深い光沢を持ち優れた強度を持つ板材



施設概要

この施設は、林野庁の「地域材利用促進対策事業」の補助を受け、平成18年度に施工した木造施設です。地域再生計画「つるおかの森再生構想」の一環として、地域産木材を公共施設に積極活用するモデル施設に位置づけ、建物全体の木材量の91%に鶴岡産材を使用し、使用木材は建築工事と切り離して分離発注を行っています。

施設内は、鶴岡産杉材の特殊加工による部材を多く使用した先進的な構造にしております。玄関ホール及び廊下の床板に杉の圧密化フローリングを取り入れ、杉の木目の美しさ、味わい深い光沢を表現しながら優れた強度も持たせました。また、玄関ホール、廊下、会議室1・2の腰壁及び天井部に高温加圧処理した杉板を使用し、温もり、潤い、柔らかな視覚的効果を強調しました。

屋根を支えるための小屋組みは、金物を使わずに、貫構造でクサビ止めとし、玄関ホールと廊下の上部について全面表しとしました。古民家風のイメージとトップライトからの明るい採光から、小屋裏の空間と一体となって大きく開放的な空間を創出しております。外部は、軒の張り出しを幅広くすることで、建物を風雪等から守る構造にしております。

地域の交流の場や憩いの場として、また農林業の研修等の拠点施設として幅広くご利用ください。

建 物：木造平屋建

敷地面積：644.21 m² 総木材使用量：55.76 m³

建築面積：232.53 m² 内鶴岡産材：50.81 m³ (91%)

床面積：210.97 m² その他材：4.95 m³ (9%)

〒997-8601

山形県鶴岡市馬場町9-25

鶴岡市農林水産部農山漁村振興課

TEL 0235-25-2111(代)

FAX 0235-25-8763